

開催日

2020/8/20

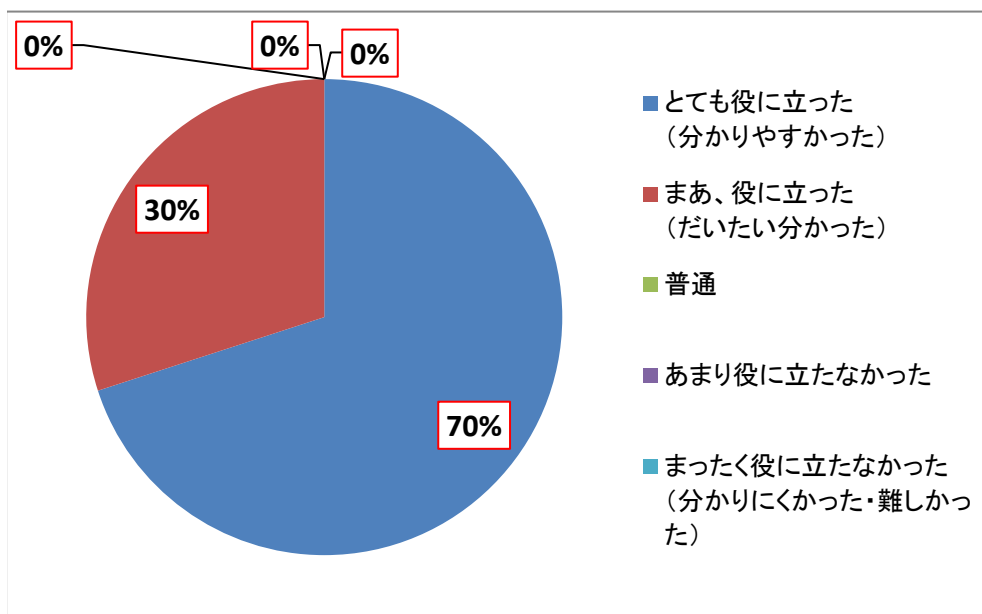
テーマ 津軽圏域の二次救急の現状と地域医療構想の問題点

申込者 津軽保健生協社会保障平和委員会

アンケート結果

配布 15 件
回収 10 件
回収率 66.7%

評価	合計	
とても役に立った (分かりやすかった)	7	70%
まあ、役に立った (だいたい分かった)	3	30%
普通	0	0%
あまり役に立たなかった	0	0%
まったく役に立たなかった (分かりにくかった・難しかった)	0	0%
感想	8	
質問	2	
要望	1	



感想	・時間が足りないようですが、全体の流れも、わかりやすかったです。 ・組合員として、地域医療に責任を持っている。 ・西北五の新中核病院は患者をトリージングしている。 ・新中核病院、津軽地域の医療についてよくわかった。 ・今まで弘前市は、医師数が多いと聞いていたが、弘大の教授数が入っていたのが、よく理解できた。 ・とても勉強になりました。 ・初めて聞く話ではなかったが、地域の状況を全体的に復習出来て良かった。 ・落ち着いた口調でソフトな語り口で説明してくれたので、難しいと思われた内容もわかりやすく、大変な津軽地域の現状がよくわかり恐ろしさを感じた。 ・何となく思っていたことと現実との差に改めて学習不足を感じた。 ・久々に新中核病院で津軽の救急医療を学びました。ありがとうございました。 ・専門的で細かな資料は健生の職員も現状を学ぶことに、ふさわしい内容。同じこと」が県、市の職員にもわかってもらう必要がある。 ・福祉が進んでいる国が手本になると思うが、国家予算配分の比較、不安な老後を国民が学必要がある。
質問	・中核都市ではない弘前に中核病院は、そもそもおかしい。津軽圏域の救急に対応できない医療構想を充実させる策はあるのか？
要望	・新中核病院の状況を、もっと話せる機会をつくってください。 ・足腰の不自由な高齢者の為に、新聞やチラシ等の情報を補う形の学習ができれば良い。